

当社は、JAPICの動物実験実施施設認証を取得しています

## 感染試験のご紹介

NBRとして感染試験を開始して13年が経過しました。この間に実施した試験数は約330試験となり、取り扱える病原体を徐々に増やし、新しい試験方法にもチャレンジしてきました。今回は、それらの中で新しい試験系を2つご紹介いたします。感染試験が必要になりましたら、先ずはお問い合わせ下さい。これまでの経験を基に試験条件からご相談させていただきます。

### ◆ ラットを用いたロタウイルス消化器感染試験

【使用ウイルス株】  
サルロタウイルスSA11株  
(Simianrotavirus SA11 strain)

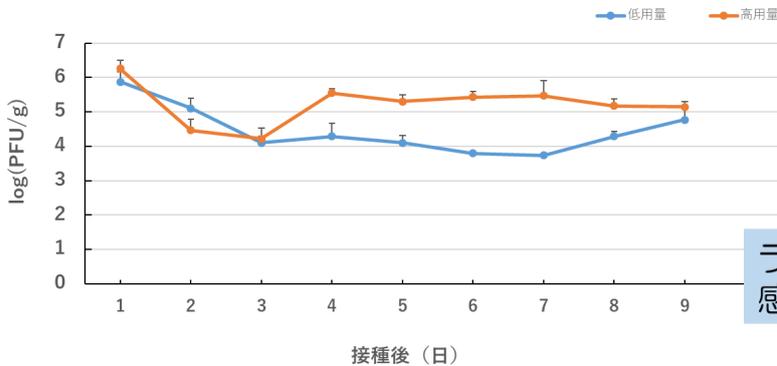
スケジュール



評価方法：糞便性状

糞便中のウイルス量

糞便中のウイルス量



ラットを用いたロタウイルス感染モデルが確立できました

### ◆ マウスを用いた大腸菌の尿路感染試験

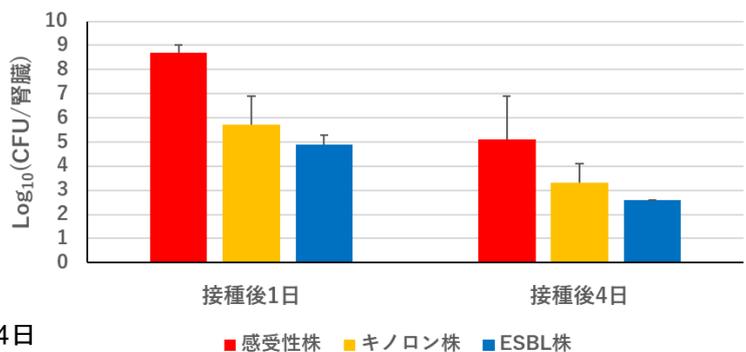
【使用菌株】  
*Escherichia coli* 感受性株  
*Escherichia coli* キノロン耐性株  
*Escherichia coli* ESBL産生株

評価方法：腎臓中の生菌数

スケジュール



腎臓中の生菌数



感受性株及びキノロン耐性株においてマウスを用いた尿路感染モデルが確立できました

### <呼吸器感染>

病原体	動物種	評価項目
インフルエンザウイルス (気道感染)	マウス	一般状態、肺のウイルス量、NK活性、生存率
インフルエンザウイルス (空気感染)	マウス、モルモット	一般状態、肺のウイルス量
RSウイルス (気道感染)	マウス	肺のウイルス量

### <消化器感染>

病原体	動物種	評価項目
ロタウイルス	マウス (仔) ラット (仔)	糞便性状、糞便中のウイルス量
Helicobacter pylori (ピロリ菌)	マウス	生菌数 (胃内)
サルモネラ菌	マウス	生菌数 (脾臓)
Clostridium difficile	ハムスター	生存率、病変度観察、糞便性状

### <皮膚感染>

病原体	動物種	評価項目
黄色ブドウ球菌	マウス	病変度観察、生菌数 (皮膚)
ヘルペスウイルス	マウス	病変度観察、疼痛評価
白癬菌	モルモット	病変度観察、生菌数 (皮膚)

### <その他>

病原体	動物種	評価項目
大腸菌	マウス	腎臓中の生菌数
MRSA	マウス	生存率、生菌数
カンジダ	マウス	生存率、生菌数
肺炎球菌	マウス	生存率、生菌数
耐性緑膿菌	マウス	生存率、生菌数

### <vitro>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 抗菌作用試験</li> <li>・ 抗ウイルス試験</li> <li>・ 抗生物質感受性試験</li> <li>・ 人工プラーク付着性試験</li> <li>etc</li> </ul>
--

### <病原体>

ウイルス	細菌	真菌
インフルエンザ	黄色ブドウ球菌・大腸菌	カンジダ
ヘルペス	MRSA・肺炎球菌	白癬菌
ロタ	緑膿菌・耐性緑膿菌	
ノロ	サルモネラ菌	
ネコカリシ	ミュータンス菌	